

第1回さくらサイエンスプラン同窓会挨拶
(3月21日(木) 15時~於: ロッテホテル6階)

ギエム・ヴー・カイ 国会議員・ベトナム科学技術連合会 副会長
ファム・チ・クオン 教育訓練省 国際協力局次長
レ・ティ・ヴィエット・ラム 科学技術省 国際関係局次長
沖村憲樹(おきむらかずき) 科学技術振興機構 元理事長 上席
フェロー

ご列席の皆様、

●日本政府を代表して、第1回「さくらサイエンスプラン同窓会」開催にご尽力いただいた全ての関係者の皆様への感謝とともに、一言ご挨拶を申し上げます。

●現在、日越両国の間には、指導者間の厚い信頼関係に加え、国民間にも強い親近感が存在しています。全ての分野で関係は急速に緊密化しており、科学技術分野も重要な柱の一つです。

●昨年5月の日越共同声明では、第5回日越科学技術共同委員会の開催が合意され(2020年1~3月を想定)、また、来年には第4回日越大学長会議の開催も検討されています(2020年5月を想定)。

●このような良好な関係の背景には、元留学生の先輩方が、両国の架け橋として活躍されていることもあります。本日ここにおられるカイ国会議員(元科学技術副大臣)、ラム科学技術省局次長が、まさにその先輩たちであり、両国の科学技術交流に日々ご尽力いただいています。

ギエム・ヴー・カイ氏 1988~94年国費: 大阪市立大学理学部地球情報学科

レ・ティ・ヴィエット・ラム氏 国費: 政策研究大学院大学、東京大学

●「さくらサイエンスプラン」は、開始以来5年間で、
実に1、900名近くに上る高校生から研究者を、ベトナムから
日本に招へいしました。参加後、日本留学、日越共同研究につな
がる事例も増えています。

●現在、ベトナムは、順調な経済成長を背景に、先進国入りに向
け、大きく飛躍する歴史的チャンスを迎えています。その基盤と
なるのは、科学技術力の強化、高度な人材育成です。近く、科学
技術新都市・ホアラックハイテクパークが開設し、日本が協力す
るベトナム宇宙センター、日越大学学部等も整備されていきます。

●日本は、ベトナムがこの歴史的チャンスを活かされることを心
から願っています。そのため、今日ここに集まった、日本の関係
者は、さくらサイエンスプランも含め、更なる基盤作りに貢献し
たいと考えています。

●本日は、このあと、同窓会が発足されると伺っており、ネット
ワークの強化により、日越間の科学技術交流、人と人との交流が、
ますます促進されることを心より期待致します。

●最後に、皆様の御健勝、さくらサイエンスプランの発展、日越
関係の更なる強化を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。
ご静聴ありがとうございました。

(了)